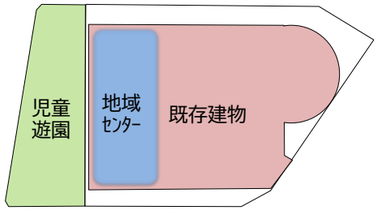
文教児童委員会資料
令和８年２月１７日
教育委員会事務局 生涯学習課

板橋区立教育科学館の施設再整備及び指定管理者選定の方向性について

１　資産の現況

設置目的	科学に対する知識の普及啓発を促進し、学校教育及び生涯学習の一層の充実振興を図ること
所在地	常盤台４－14－１
施設概要	敷地面積　3,102 ㎡ 延床面積　4,990 ㎡（うち 4,236 ㎡が教育科学館） 築年・構造　1988 年・SRC 構造 地下１階地上３階 併設施設　常盤台地域センター（１階の一部）
運営方式	指定管理者制度（コングレ・東急コミュニティー共同事業体）
入館者数	R2：66,704 R3：127,481 R4：166,336 R5：219,688 R6：208,093
運営コスト	218,171 千円（令和６年度決算）
備考	平和公園整備の際に、公園用地を利用して整備

周辺地図



配置図

２　現況・課題

（1）ハード面の課題

① 開館から 37 年経過しており、建物・設備の老朽化に対応する必要がある。

② プラネタリウムや展示についても更新が必要な状況であるが、今後の施設のあり方が定まっていないため、積極的な更新対応に至っていない。

③ 改修等の再整備に向け、施設のあり方を含めた検討を進める必要がある。

（2）ソフト面の課題

① 主として学校教育の充実を目的に開館し、平成 19 年度に指定管理者制度を導入した。

② 事業者のノウハウを活かして STEAM 教育やラボ事業に取り組んできたが、創造的な活動や多世代交流を、さらに充実させる必要がある。

③ 現在の指定管理期間が令和８年度末をもって更新時期を迎えるため、令和９年度からの新たな指定管理者の公募に向けた方針整理が必要である。

（3）外部環境への対応

① 「いたばしNo.１実現プラン 2028」における戦略的取組の一つである「クリエイティブ戦略」を踏まえ、多様な主体の連携による、まちの魅力創造を図る必要がある。

② 平和公園・区立中央図書館などの公共空間の充実と合わせ、周辺の再開発や民間開発との連携により、相乗効果の創出を図る必要がある。

３　方向性（案）

(1) 基本的な考え方

① 単なる建物の老朽化対応ではなく、施設のあり方を検討した上で、「未来の学びと創造を支える拠点」として、都市再生と連携した創造的拠点の形成をめざす。

② STEAM 教育（Science：科学、Technology：技術、Engineering：工学、Art：芸術、Mathematics：数学）や、クリエイター・区民などの人を中心に据えた場づくりをさらに発展させる。

③ 施設再整備を見据え、令和９年度からの新たな指定管理者の選定を行い、ハードとソフトを一体的に捉えて施設・事業の最適化を図っていく。

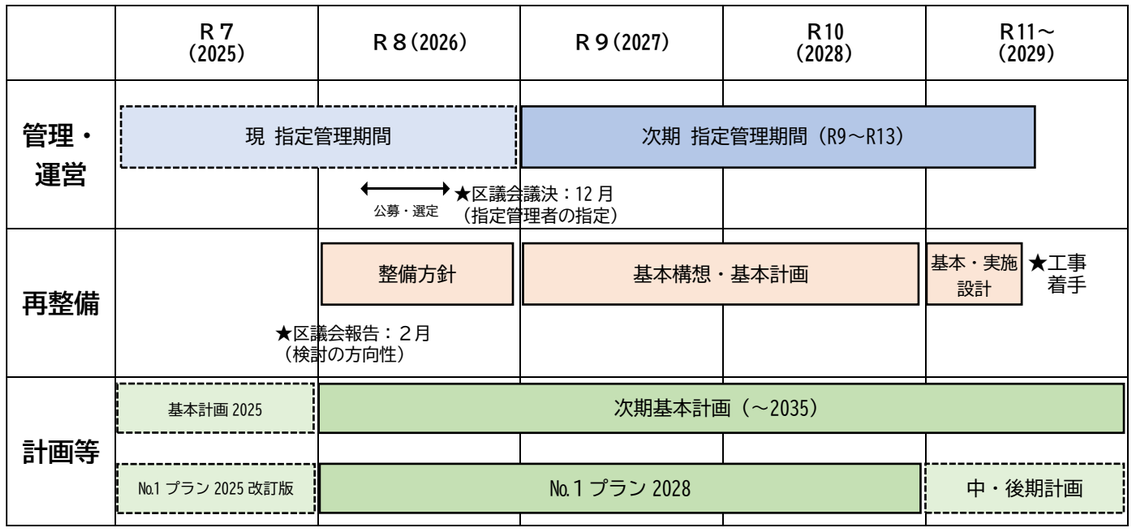
(2) 施設再整備について

① 「いたばしNo.1 実現プラン 2028」において、新規事業として「教育科学館の再整備」を位置付け、令和８年度から整備方針の策定に着手する。

② 建物と隣接する児童遊園も含めた整備方針を検討する中で、施設のあり方について整理し、整備・運営手法や他施設との機能連携等についても検討する。

(3) 指定管理者選定について

① 令和９年度からの新たな指定管理者について、令和８年第４回定例会での議決を目途に、事業者の選定を進めていく。

② 指定管理者選定にあたっては、創造的拠点の形成を見据え、STEAM 教育や人中心の場づくり等、新たな事業についても提案を求め、その成果を再整備検討に反映する。

４　スケジュール（案）